

〈事例報告3〉「自分の意見を分かりやすく話そう」（現代文B）

1 実践にいたる背景

日頃から生徒の論理的思考力を養うとともに、学ぶ意欲の向上を図りたいと考えていた。グローバル化する社会の中で、論理的に考えて自分の意見を分かりやすく話す力は大切である。一方、生徒の現状は、自分の意見を積極的に伝えることができず、かつ、意見に疑問を投げかけると黙ってしまう。この状況を打開するために、生徒が論理的に自分の意見を相手に伝えられるようにしたいと考え、本研究主題を設定した。

2 指導目標と評価

(1) 身に付けさせたい力（論理的思考に関わる目標）

自分の意見を分かりやすく論理的に話す力

(2) 関係する学習指導要領の指導事項

目的や課題に応じて、収集したさまざまな情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。（現代文B(1)のエ）。

(3) 関係する論理的な思考の活動

必要な情報を抽出し、分析する。（②抽出、分析）

(4) 評価規準

関心・意欲・態度	話す能力・聞く能力	知識・理解
目的や課題に応じて、収集したさまざまな情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現しようとする。	目的や課題に応じて、収集したさまざまな情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。	語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現や推敲に役立てる。

(5) 評価方法と評価基準表

ア 評価方法 ワークシートの記述の分析・行動（発表）の確認

イ 「話す能力・聞く能力」の評価基準表

評価A	評価B	評価C
「鞆」の意味についてさまざまな角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して分かりやすく意見を述べている。	「鞆」の意味についてさまざまな角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にして意見を述べている。	「鞆」の意味についてさまざまな角度から検討できていない。あるいは、根拠を明確にして意見を述べることができない。
相手の意見を尊重し、批評的な態度をもって聞くことができる。	相手の意見を尊重して聞くことができる。	相手の意見を尊重して聞くことができない。

3 単元の指導計画

(1) 言語活動と教材

ア 言語活動：小説「鞆」の続きについてグループで話し合い、創作し、発表する。

イ 教材：「鞆」（安部公房，三省堂『高等学校現代文B』）

(2) 単元観・教材観

ア 単元観

自分の意見を他者にも理解できるように根拠を明らかにして説明することは、論理的な思考力を養う学習活動である。客観的で妥当な根拠とはどのようなものか、考えさせたい。また、他者との感じ方の違いを認識して聞き合うことにより、聞く力も高めさせたい。

イ 教材観

小説の続きを創作するためには、小説の中で重要な働きをする「鞆」の性質を分析的に捉えなければならない。性質を捉え、整合する展開を考えることにより、論理的思考力が養われる。本文中の表現をどのように解釈し、小説の続きに反映させたのか、合理的な説明をさせたい。また、創作したものを楽しみ、互いの意見を尊重し合う聞き方を身に付けさせたい。

(3) 指導と評価の計画（配当時間4時間）

次／時間	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	◇評価規準，◆評価方法， *努力を要する状況と評価した生徒への支援の手だて
第1次 (1時間)	①新出語句などに気を付けながら本文を音読する。 ②小説「鞆」の内容を読み取る。	①語句の意味や読み方について指導する。 ②発問しながら、話の筋をまとめさせる。	◇知識・理解 ◆記述の確認（語句プリント） *他にも読めない漢字や意味の分からない語句があれば調べておくよう指示する。
第2次 (1時間)	①ワークシートに小説の続きを創作する。 ②ワークシートに以下の二点を説明できるようまとめる。 ・「鞆」とはどのようなものか。 ・身近なものに例えると何か。 ③グループに分かれ、ワークシートを基に一人1分で発表し、相互評価をする。その後グループで発表するものを一つ選ぶ。 ④発表準備をする。 発表原稿を作成する。5分のもち時間で、小説の続きと「鞆」の意味を発表する。	①本文とのつながりを踏まえ、創作意図を書かせる。 ②「鞆の重さが、僕の行き先を決めてしまう」「嫌になるほど自由」といった発言を中心に考えさせる。 ③発表後、質問をして意見を交換させ、自分の考えを深めさせる。 ④発表方法を考えさせる。 発表メモを次回回収すること、発表用の原稿を作成しておくことを伝える。	◇話す能力・聞く能力 ◆記述の分析（ワークシート） *相手が説明した内容からよいところを見つけさせる。

第3次 (2時間)	①グループで発表する。	①話の続きや、創作者の意図が分かりやすく伝わるよう、工夫して発表させる。意図が伝わること、話の続きが本文の内容と合理的につながるなどが、評価の基準となることを確認する。	◇話す能力・聞く能力 ◆行動の確認（グループ発表）
	②内容を再度練り直す。	②発表を聞いた後に、もう一度自分で練り直し、ペアで検討させる。	◇話す能力・聞く能力 ◆行動の観察（ペアワーク）
	③活動の振り返りをする。	③意欲的に取り組めたか等、「振り返りシート」を用いて振り返りをさせる。	◇関心・意欲・態度 ◆記述の分析（相互評価表）

4 学習活動の実際

(1) 学習に取り組む生徒の姿

小説の中で重要な働きをする「鞆」の性質について本文から読み取り、小説の続きを創作することは、生徒にとって難しい課題だと考えていた。生徒もそう感じていたようだが、課題に興味をもち、何とか取り組もうとしていた。そのうちに生徒は、よりよい意見を考え、相手に伝えるためには、本文を隅々まで読み込む必要があることに気付き、繰り返し読んで考えを深めていった。

生徒の相互評価からは、自分の考えたストーリーと違うものに触れ、さまざまな発見をしたことが読み取れた。「制限された自由というキーワードがおもしろかった」という感想は、授業者のねらいどおりであった。班で一つの話を選び、自分たちで役割を決め、どのようにしたら伝わるかを考えて発表することにより、伝えることの難しさや協力することの楽しさを感じたようである。リーダーも自然に出てきた。自分たちで授業をつくり上げた実感する生徒もいた。ただ、相互評価がみな高得点になってしまった。これについては、批評的な視点で見ることの大切さについて、もう少し指導する必要があったと思う。

クラスの半数以上が、「教材に興味をもてた」「班の活動に積極的に関わることができた」「鞆の意味を考え、発表前より理解が深まった」と答えた。しかし、身近なものに置き換えることが難しかったようだ。発表で「スマホ」と聞いたとき、「ああ」「おお」と感心の声があがった。

生徒の感想や活動の様子から、今回は、協調性、リーダー性、論理的思考力、段取りをする力、表現力といった力が養われたのではないかと思う。

(2) 「身に付けさせたい力」の実現状況と生徒の作品例

学級の生徒39名のワークシート・振り返りシートを分析した。「身に付けさせたい力」を評価するワークシートの評価の結果は、A…3人、B…30人、C…6人となった。

以下に示すのは、生徒の作品例である。

(創作概要) 自分でもどこを歩いているか分からないが、ふと道の途中に求人広告がたくさん貼られているところに行き着いた。私は鞆に導かれるまま歩き続けたのだった。

(創作意図) 鞆は人から人へどんどん引き継がれるものだと思った。自由になれていると思込んでいるが、もう自分で何かを決めることができず、流されるままに進んでいるところを表現した。

(鞆の身近な例) 自分の将来を勝手に決めてしまう何かだと思ふ。おのずから制約されているし、その反面嫌になるほど自由だったと書いてあるように、自分は何も考えずに自由に生きていると思込んでいるが、実は決められたルートに沿って動いているだけ。鞆は「法律」や自分の意見をただ押し通す「身内や知り合い」か。自分のことを縛って制限してしまっているものだから。 …評価A

(創作概要) 私が鞆をもって歩いていくと、青年のもとにたどり着いた。逃げようとしても鞆は重くなるばかり。やはり鞆は青年が持つべきものであった。

(創作意図) 鞆は青年の人生に欠かせないものなので、青年に持たせようと思った。

(鞆の身近な例) 携帯電話。青年は手放すなんてありえないと言っているから。 …評価B

(創作概要) 鞆を持った私は、青年の気持ちが理解できた。なかなか事務所に戻れなかったが、なんとか戻れた。すると、青年が目の前にいて、私のとる行動が分かっていたかのように誇らしげに笑った。 …評価C

評価Cの生徒に対しては、班員の相互評価を参考にさせ、創作意図について口頭で説明を加えさせた。

5 おわりに

本研究で実施した自分の意見を分かりやすく相手に話すという学習活動は、おおむねできたと考えられるが、自分の意見を補強する根拠となるものが少なかったり、発表のときに、声が小さかったり、発表の意図が伝わらなかったりする課題も見えた。

授業者自身の改善点としては、分かりやすく伝えるために、今回は手段の限定をしなかったが、紙芝居なら紙芝居、劇なら劇と統一し、根拠や意図の説明に重点を置かせた方が、ねらいに沿った活動になったのではないかと考える。

別の単元でも、こうした活動に取り組ませ、説得力のある意見を構築する力と、分かりやすく伝えようとする意識を育成したい。

発表のとき、問二・三もふまえられると説得力が増すね。
創作がひとりよがりになっていないか注意しよう。

問一 『鞆』の続きを創作してみよう。

●このやり方で考えた意図を図号で。

●本文の中のやりなやりのなを致みはたか。どこを根拠としてるな。

問一 作品中の「鞆」とはどのようなものか（根拠も書け）。()

問二 自分にとって「鞆」はどのようなものか。身近な具体例は何か（根拠も書け）。()

「靴」安部公房 相互評価表

三年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

評価の基準

一、「ストーリーの内容とその意図が分かりやすく伝わってきたか。」
 二、「靴」の意味や例えにあげられた身近な物に根拠があり、説得力があるか。

●相互評価表 A 大変そう思う(2点) B そう思う(1点) C そう思わない(0点)

よいところ	氏名	一、ストーリーの内容とその意図が分かりやすく伝わってきたか。	二、「靴」の意味や例えにあげられた身近な物に根拠があり、説得力があるか。	合計
	質問			

よいところ	氏名	一、ストーリーの内容とその意図が分かりやすく伝わってきたか。	二、「靴」の意味や例えにあげられた身近な物に根拠があり、説得力があるか。	合計
	質問			

よいところ	氏名	一、ストーリーの内容とその意図が分かりやすく伝わってきたか。	二、「靴」の意味や例えにあげられた身近な物に根拠があり、説得力があるか。	合計
	質問			

よいところ	氏名	一、ストーリーの内容とその意図が分かりやすく伝わってきたか。	二、「靴」の意味や例えにあげられた身近な物に根拠があり、説得力があるか。	合計
	質問			

●感想 評価してみてどうだったか。印象的なことはあったか。自分の考えはどのように深まったか。メモしておこう。

「鞆」安部公房 発表メモ

三年（ ）組（ ）班

（ ）番 氏名
（ ）番 氏名
（ ）番 氏名
（ ）番 氏名
（ ）番 氏名

（ ）
（ ）
（ ）
（ ）
（ ）

1 発表時間 5分

2 発表形態・方法 (劇、パワーポイント、紙芝居 等)

3 発表内容 (ストーリーや意図・内容合致・鞆の意味・具体例をうまく表現する)

4 発表のアピールポイント

5 発表タイトル

6 役割分担 (役割と担当を決める)

「靴」安部公房 発表原稿

発表タイトル

三年（ ）組（ ）班

（ ）番
（ ）番
（ ）番
（ ）番
（ ）番
氏名
（ ）
氏名
（ ）
氏名
（ ）
氏名
（ ）
氏名
（ ）

（ ）
（ ）
（ ）
（ ）

時間	0分
内容等	5分
準備するもの	

「鞆」安部公房 各班評価表

三年（ ）組（ ）班

（ ）番 氏名（ ）
 （ ）番 氏名（ ）
 （ ）番 氏名（ ）
 （ ）番 氏名（ ）

●相互評価表 A 大変そう思う(2点) B そう思う(1点) C そう思わない(0点)

班	一、ストーリーの内容とその意図が分 かりやすく伝わってきたか。	二、「鞆」の意味や例えに挙げられた身 近な物に根拠があり、説得力があるか。	合計
よいところ	質問		
一班			

班	二班		
よいところ	質問		
二班			

班	三班		
よいところ	質問		
三班			

班	四班	一、ストーリーの内容とその意図が分 かりやすく伝わってきたか。	二、「鞆」の意味や例えに挙げられた身 近な物に根拠があり、説得力があるか。	合計
よいところ	質問			
四班				

班	五班		
よいところ	質問		
五班			

班	六班		
よいところ	質問		
六班			

班	七班	一、ストーリーの内容とその意図が分 かりやすく伝わってきたか。	二、「鞆」の意味や例えに挙げられた身 近な物に根拠があり、説得力があるか。	合計
よいところ	質問			
七班				

班	八班		
よいところ	質問		
八班			

「靴」安部公房 振り返りシート

三年 () (組) (番氏名)

①教材について興味をもてたか。

- | | | | | |
|---|-------|-------------|-----------|------------|
| 1 | 大変もてた | どちらかといえばもてた | あまりもてなかった | まったくもてなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

②グループの活動に積極的に関われたか。

- | | | | | |
|---|----------|---------------|------------|-------------|
| 1 | 非常に関わられた | どちらかといえば関わられた | あまり関われなかった | まったく関われなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

③内容理解や創作のために教材をくり返し読むことができたか。

- | | | | | |
|---|-------|----------|-----------|------------|
| 1 | よく読めた | それなりに読めた | あまり読めなかった | ほとんど読めなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

④「靴」の意味を考へることができたか。

- | | | | | |
|---|-------|------------|-------------|--------------|
| 1 | 考えられた | それなりに考えられた | あまり考えられなかった | まったく考えられなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

⑤身近な物に置き換えることができたか。

- | | | | | |
|---|-------|----------|-----------|------------|
| 1 | よくできた | それなりにできた | あまりできなかった | まったくできなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

⑥教材を踏まえて合理的に続きの話を創作できたか。

- | | | | | |
|---|-------|----------|-----------|------------|
| 1 | よくできた | それなりにできた | あまりできなかった | まったくできなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

⑦自分の意見を正確に伝えることができたか。

- | | | | | |
|---|-------|----------|-----------|------------|
| 1 | よくできた | それなりにできた | あまりできなかった | まったくできなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

⑧発表前に比べ、内容理解は深まったか。

- | | | | | |
|---|---------|-----------|------------|-------------|
| 1 | かなり深まった | それなりに深まった | あまり深まらなかった | まったく深まらなかった |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

今回の活動を通して気付いたこと・感想はあるか。